



## 当たり前のことを身に付けていく ～凡事徹底～

統括校長

朝一番、校長室の窓を開け、通りぬける湿った風に季節の変化を感じます。子供たちの校帽も白色に変わり、初夏の到来を告げているようです。

休日の浅草橋地域では、御はやしの音が響き、多くの人たちで賑わいの様子を見せています。その中、台東育英小学校の子供たちも、地域の方々に温かく見守られながら楽しく活動し、育てていただいています。

さて、先日、慶応義塾大学教授の佐久間亜紀先生のお話を伺う機会がありました。佐久間先生は、「教員不足」という書籍を出版し、国会でも発言するなど話題になっている方です。優しい口調で、日本の教育現場を教員という視点から調査・分析されたお話でした。世界の学校の中にあって、一人の先生が担当する子供たちの数は、日本の先生が圧倒的に多いことを知りました。日本の先生方は、よく頑張っていると感じました。そして、公教育に携わるものとしての誇りと使命の重さを、改めて自覚することができました。

新年度から二か月が過ぎようとしています。

今、台東育英小学校では、何でもないような当たり前のことを徹底していき、確実に定着させることを目指し、「凡事徹底」をテーマに取り組んでいるところです。そのことが、子供たちの生きる力の土台となることだと確信します。

自動車大手用品の創業者である鍵山秀三郎さんが実践したことが「凡事徹底」です。朝起きたら布団をたたむ、靴をそろえる、家の前を掃除することでした。有名な方では、松下幸之助氏の「挨拶」「整理整頓」「トイレの掃除」と、とてもシンプルな「凡事徹底」です。イチロー選手は、高校3年間×365日、通常の練習以外に毎晩10分間の素振りをしていたことも知られています。本校の「凡事徹底」は、教室環境の整備、生活・学習のルールです。いつでも机・椅子が整頓されたきれいな教室、正しい言葉遣いと話の聞き方・話し方など、具体的な姿やかたちを繰り返し指導しています。

梅雨の時期は、体調を崩しがちです。全校朝会で、子供たちに話したことです。体力を向上するには、「よく寝ること」「よく食べること」「よく体を動かすこと」です、と。当たり前のことを徹底することが、とても大切なことだと思います。

報告については、今回は掲載しません。

## 読書旬間が始まります

図書担当

学校図書館には、絵本や小説、図鑑など多くの種類の本があります。1週間に1人2冊借りることができ、朝読書の時間や水曜日の給食後の15分、また、休み時間や図書の時間など多くの時間に本を読む機会があります。読書をしている子供たちはとても静かで集中している様子が見られます。

本を読むことで育つ力は、語彙力や知識量を増やしたり、読解力を伸ばせたりと様々な利点が挙げられます。たくさん本の中から、「また、読みたいな。」「友達に紹介したいな。」という本を見つけて読書の楽しさを広げてほしいと思っています。まずは子供たちに「本が好き！読書は楽しい！」と心から感じてもらいたいと思います。

6月2日から3週間、読書旬間があります。読書旬間には、学校図書館の中に「先生のおすすめ」の本が紹介されます。どんな本が紹介されているか、その紹介文を見ながら本を借りていくのを楽しみにしている子供たちが多いです。様々な本とふれあってほしいと思い、学年に合った内容の本を教員が紹介しています。読書旬間期間中には、ぜひご家庭でも読み聞かせや、一緒に読書を楽しむ時間をつくってもらえたら幸いです。ご協力よろしくお願いします。

|      |                  |
|------|------------------|
| 読書旬間 | 6月2日(月)～6月20日(金) |
|------|------------------|

|          |
|----------|
| 転入者 あいさつ |
|----------|

|                 |
|-----------------|
| につきましては、掲載しません。 |
|-----------------|